

HCC TIMES

Vol.231
2022 9

https://npo-sgh.org



NPO法人 SG博友会
〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3552
編集元 HCC事務局 石倉慎也

2022.10.1 HCC TIMES リニューアル

平素は、HCC TIMES をご覧いただき、誠にありがとうございます。この度、本紙 HCC TIMES は、2022 年10月号より、これまで発行していた NPO 法人 S G 博友会から、一般財団法人 S F 豊泉家広報戦略室がバトンを受け継ぎ、豊泉家の様々な情報を発信していくこととなりました。

広報戦略室は、2021 年4月より発足した新しい部署で、豊泉家の新しい情報を最適に多くの方へと伝えるため、紙媒体の広告から WEB サイトに至るまで多岐にわたる広報媒体を制作、発信してまいりました。歴史ある HCC TIMES をさらに進化させるために、尽力してまいりたいと思います。

HCC TIMES は、2002 年10月号を持って232号となり、これまで継続してられましたのも皆様方のご支援ご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。今回、NPO 法人から広報戦略室へと引き継ぐにあたり、HCC TIMES の歴史について振り返らせていただきます。

2003年6月、豊泉家コミュニティクラブ(HCC)が中心となり、まずは、ご利用者、ご入居者の皆様とそごご家族に向けた「HCC TIMES」を発刊、2005年4月に

事柄	
2001.1	HCC(豊泉家コミュニティクラブ)発会
2001.3	NPO法人SG博友会 設立
2003.6	HCC TIMES 発刊
2005.4	フェロー通信 発刊
2010.4	HCC TIMES+フェロー通信 合併
2010.10	HCC TIMES 紙面リニューアル
2020.2	HCC TIMES200号 発刊
2022.10	発刊元が一般財団法人SF豊泉家 広報戦略室へ
2023.6	HCC TIMES創刊20周年
2028.6	300号発刊(予定)+TIMES創刊25周年

ルターの皆様へお渡しさせていただいております。掲載内容は多岐に渡り、1月号の豊泉家グループ代表田中成和会長による新年のご挨拶と経営指針や未来に向けての想いからスタートし、毎月各ホームで開催されているアクティビティやイベントのご紹介、福利厚生のご紹介など多角的に豊泉家グループを知っていただくべく、様々な情報を掲載しております。

HCC TIMES を発刊して19年余り、これからの未来に向けて新しく突き進んでいく為に、豊泉家の縁でつながる家縁の皆様と共に創り上げていく豊泉家でありたいと願い、その架け橋となるべく HCC TIMES を進化させてまいりたいと思っております。今まで以上にフェローの皆様、ステークホルダーの皆様、ご利用者、ご入居者の皆様、患者様、ご家族の皆様、地域の皆様方により一層豊泉家グループを知っていただける様、HCC TIMES を発展させてまいりたい所存です。本紙は、豊泉家でつながる縁、家縁を推進していくためにも重要なものだと考え、すべての情報を集約させてまいります。豊泉家に携わっていただくすべての皆様に大家族と見え、多くの情報を発信してまいりますので、引き続き愛読いただければ幸いです。今後とも何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

記者・広報戦略室
室長 石倉 慎也

過去の記事は左記QRコードよりご覧いただけます。
NPO法人SG博友会
ホームページ

1 HCC TIMES 初刊



2 フェロー通信初刊



3 HCC TIMES HFC NEWS 合併号発刊



4 HCC TIMES リニューアル



5 2020年 HCC TIMES 200号発刊



認知症ケアPJからのお知らせ

2025年には、65歳以上の5人に1人、約700万人が発症すると予測されている認知症。誰でも理解できるからこそ、認知症への理解を深め、共に生きる環境づくりの大切さをお伝えしたいのです。

「認知症イノベーション」の5人に1人、約700万人が発症すると予測されている認知症。誰でも理解できるからこそ、認知症への理解を深め、共に生きる環境づくりの大切さをお伝えしたいのです。

また、豊泉家グループでは、認知症家族の会「グリーンオアシスの会」を立ち上げ、月に一度、在宅で支援するご家族の癒しの場を提供する活動も行なっております。「症状の進行が気になる」「こんな症状が出た時には、どう支援したらいいか」など、千差万別の対応が必要なご家族の皆様へ、介護の専門職としてケアの方法をお伝えしております。決して、一人ではなく、我々豊泉家グループも一緒に支援してまいります。



記者・広報戦略室
森永 真衣

認知症重点ケアホームを目指して <CCRRC豊泉家 芦屋山手>

兵庫県芦屋市に今年4月に新設オープンした介護ホームCCRRC豊泉家 芦屋山手は、特別養護老人ホームとケアハウスの2事業を中心として運営しながら、デイサービス、ケアプランセンター、クリニックなども併設して運営しております。(生命を守り、生活を愉しみ、人生を豊かにすることを目指して、日々支援

記者・広報戦略室
森永 真衣

祝百歳のお祝い

2022年7月25日(月)、住之江コミュニティにご入居されております岩井ツツエ様がめでたく百歳のお誕生日を迎えられました。

前日の7月24日(日)に住之江コミュニティ1階コミュニティホールにて、住之江コミュニティのフエローと豊泉家コミュニティクラブでささやかながらお祝いの会を開催させていただきました。

住之江コミュニティ 小中陽三コミュニティ長より記念の素敵な花束と、吉中薫副コミュニティ長よりお誕生日ケーキをプレゼントさせていただきました。また岩井様が住之江コミュニティにご入居されてからの写真動画を上映させていただきました。懐かしなお写真に会場は和やかな空気に包まれ笑顔の広がる素敵なお時間となりました。

岩井様は百歳を迎えられても尚いっつも明るく笑顔でもっともアクティブに元気で積極的に参加いただいております。住之江コミュニティに元気をいただいております。

これからもずっと笑顔で過ごしていただけるよう、フエロー一同、日々サポートしてまいります。

この度は本当におめでとうございました。



HCC住之江

相愛大学音楽アクトイブティ

大阪市住之江区南港中に、音楽大学として全国的にも有名な「相愛大学」がございまして、住之江コミュニティでは、相愛大学音楽学部音楽学科の音楽療法専攻の大学生の皆様が毎月第3日曜に訪問していただき、音楽療法を施したアクトイブティを開催しております。

2020年4月から新型コロナウイルス感染症の影響で、相愛大学によるアクトイブティを中断してまいりましたが、2022年4月より感染症対策をしっかりと施しながら再開できることとなりました。現在は2〜3名ずつ訪問いただき、楽器演奏のコンサートや、楽器を使ってのメロディクイズ、演奏に合わせた軽い運動を行う音楽療法プログラムなど、大きく3部構成で開催いただいております。メロディクイズでは、「この曲ご存じですか?」とご入居の皆様との掛け合いもあり、とても和やかで楽しい時間が流れております。

毎月事前に内容や進行の打合せ、アクトイブティ当日の進行の確認などの最終チェックを行い、皆様に楽しい時間を提供できるように、これからも相愛大学の皆様にご協力いただきながら楽しいアクトイブティを企画してまいります。

記者：大村 篤史



HCC上町台

2022天森夏祭り

7月25日(月)上町台コミュニティ天森養護老人ホームにて、「2022天森夏祭り」を開催いたしました。昼食には「夏祭りスペシャルランチ」、午後からはアクトイブティ演奏者福ちゃんによる「アクトイブティコンサート」そして最後に「大抽選会」を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として、フロア毎に3部構成にて、開催いたしました。上町台コミュニティでは久しぶりのイベントとなり、コンサートでは世代に合わせた曲を次々に演奏いただきました。皆様とても嬉しげな表情で会場で拍手が響き渡りました!

大抽選会ではくじを引くのは代表のご入所者様が「上は〇番の盛り上がり」と歓声が上がる程の盛り上がり。当選者には酷暑に負けない冷感グッズをプレゼントし、残念ながらも当選しなかった方にも全員に参加賞をご用意し、皆様に選んでいただきました。どの様にしようか迷った様子も、苦勞の様子(笑)。それもまた楽しいひと時となりました。

上町台コミュニティの熱く楽しい夏の日になりました。

記者：大村 篤史



HCC芦屋山手

芦屋サマーフェスティバル (花火大会鑑賞会)



7月23日(土)芦屋コミュニティ屋上テラスRITACORにて、特別アクトイブティ「芦屋サマーフェスティバル(花火大会鑑賞会)」を開催いたしました。

芦屋コミュニティのオープン前より検討を重ねておりました当企画ですが、当日の天候にも恵まれ、ご入居の皆様と無事に芦屋浜から上がる花火を鑑賞することができました。ご参加いただいた皆様に季節を感じる素敵なひと時をお過ごしいただくことができました!

また、花火大会鑑賞の他にもスペシャルゲストといたしまして、プロのジャズボーカリストとピアノistをお呼びしての特別コンサートも開催いたしました。芦屋市を望みながらの花火鑑賞と、鮮やかにライトアップされた屋上ステージでのジャズコンサートはまさに芦屋コミュニティならではの演出となりました。

お帰りの際には、「花火綺麗に観られたね!」、「コンサートもまた開催してほしい!」と嬉しいお言葉をいただき、夏の風情漂う素敵なアクトイブティとなりました。また来年も緒に鑑賞できるように企画してまいります。

記者：原 慶彦

HCCチャレンジド

フロアホッケー大会に向けて

HCCチャレンジドジョブワークカレッジでは、月に度フロアホッケー練習会を行なっております。

9月17日(土)に広島県福山市にて3年ぶりに開催が予定されている「第11回ユニバーサルフロアホッケー西日本大会」に向け猛練習中です! ※チーム名は、豊泉家レイズンボーイとして参加いたします!

コロナ禍で大会が開催されていなかった期間も練習を続けており、基本的な練習に加え、より実践的な練習も取り入れて日々レベルアップしております。今大会に初めて出場される予定のご利用者も積極的に練習に励んでおり、またHCCフエローが大会に向けて初めて練習に参加する際には、経験豊富なHCCチャレンジド会員のご利用者の皆様からアドバイスいただくとともに、一緒に楽しく練習しております!

コロナ禍前の2019年度大会では見事優勝!今年度の大会でも優勝できるように少ない時間ではございますが、豊泉家レイズンボーイ一丸となつて連覇に向けて、よりレベルの高い練習を行なっております!

応援よろしくお祈りします!

記者：高崎 孝宜



HCCスカイクラブ

素敵なバースデー

ほうせんか病院4階緩和ケア病棟では、お誕生日を迎えられた患者様にささやかなお祝いをさせていただきます。患者様のお好きなスイーツ等を用意し、アレンジケーキを飾らせていただいております。

先日のお誕生日会では、患者様よりケーキではなく「玉子サンドイッチ」のリクエストを頂戴しました。「玉子ハムサンド、卵はゆで卵ではなく、スクランブルでね」と、こんなリクエストながら、私たちフエローは協力しながらリクエストにぴったりのサンドイッチを探しました。

当日は、バースデーソングをバックミュージックに記念写真をお撮りし、プレートとサンドイッチをプレゼントしたところ、目に涙を浮かべながら「サンドイッチを口に運んでいただいきました。おいしい、おいしい」と満面の笑顔で召し上がっていただきました。

私たちも患者様の喜ぶ様子を見て、嬉しい気持ちになりました。毎回、ささやかでも心を込めて患者様のバースデーをお祝いさせていただき、皆様の素敵な笑顔を見るたびに、もっともっと喜んでいただきたいと思います。



これからも患者様にとって素晴らしいバースデーのひとつをお過ごしいただきたいと思います。

記者：山本 咲千代

HCCキッズクラブ

転がしアート

8月の製作は、ビー玉を絵の具につけて転がして絵を描く、「転がし絵」を行いました。自分たちが選んだ色画用紙を箱の中に置いて、その上に絵の具のついたビー玉を自由に転がして模様を描いていきます。そして、その箱を動かして、ゆつくりとビー玉を動かして線が描かれていく様子をみています。色をついた線が描かれていくのを見ると、子どもたちダイナミックに体を動かしながら箱を動かす子など、思い思いのやり方で夢中になって楽しんでいました。

「青色の次は赤色も!」と次々につける絵の具の色を変え、色が混ざって不思議な色や模様が出てくる様子に、子どもたちも同じ色を重ねたり、コロコロ転がしてビー玉に夢中になって頭を揺らしながら楽しむ姿も見られました。同じビー玉ですが、出来た線の模様は様々でも個性的なアートに!

素敵な模様が描かれた画用紙をヨーヨーの形に切り、うちわに飾りつけたら、暑い夏にぴったりのオリジナルうちわの完成!お家でもたくさん使ってくださいね!

記者：中村 宏美



2022年7月度
フェロー大賞 月間賞

豊泉家フェロー大賞

MC(医療)ドメイン

医療法人成和会 法人本部 義政勝之フェロー
5月末に住之江にて(大阪)高松市医療介護臨時センター(ほうせんか)を開設する事が決定し、非常にタイトなスケジュールの中で立ち上げ責任者として、各担当者と連携を行い7月に無事開設することが出来ましたが、また開設後も多くの課題がある中で運営しながら改善に取り組み、7ヶ月で約45名の方の受け入れを行いましたことが大きく評価されました。

記者：7月度を受賞したお気持ちを聞かせてください。
義政：私個人ではなく、日々現場で頑張っているフェローのおかげだと考えております。

記者：運営していく中で、喜びややりがいを感じた出来事はありますか。
義政：新型コロナウイルスに対する治療だけでなく、患者様のADLを維持向上させるためにもリハビリテーションを実施しており、その結果、入院されたときは車椅子であった患者様が退院するときに松葉杖で出てこられました。ご家族が大変驚かれました。ご家族が「いい感じでした。また、入院した先がここよかった」と言ってもらえたことも、大変嬉しかったです。

記者：最後に今後の目標を教えてください。
義政：症状によっては受け入れが難しい場合もありましたが、チーム丸となり、へまの方を受け入れられる体制を創ってまいりたいと考えております。そして、次回はチームで月間賞に選出したいというような成果を出すために、チーム一丸となって取り組んでいきます。



医療法人成和会 法人本部 義政勝之フェロー

第18回 R&D<研究・開発>発表会 ドメイン大会

8月3日(水)、5日(金)、9日(火)の三日間に渡り、第18回豊泉家R&D<研究・開発>発表会ドメイン大会(以下R&D)を開催いたしました。

R&Dとは、顧客の皆様へより高い品質の「顧客感動サービス」の提供を目的とし、豊泉家グループ全フェローが新規サービスの開発や改善事項を挙げ、社内プレゼンテーションを行う発表会です。

一日目はMC(医療)ドメイン大会を開催し、患者様ご家族へのサービス向上の取り組みや、リハビリテーション治療の実績等、全5チームが発表を行いました。総評では、医療法人成和会 大槻勝紀理事長より「豊泉家では、コンプレックス構想も始まり、今後様々な取り組みが行われていくと思います。是非、本日発表いただいた研究をこれで終わりとせず、グループ大会に向けて、そして来年に向けてブラッシュアップし続け、より良い研究にしてくれらることを期待しています」と温かい激励のお言葉を頂戴しました。

二日目はAC(介護)ドメイン大会を開催し、認知症ケアPJに基調講演を行っていた後、人財育成の目的や役割毎に求められている役割等、全8チームが発表を行いました。総評では、社会福祉法人 福祥福祉会 阿久根賢二理事長より



「日頃から多様な視点を持つて、顧客・仕事に真摯に向き合うこと、たくさんの方の気付きを得ることが大切です。本日の結果の良し悪しに関わらず、発表いただいた内容に更なる磨きを掛けて、今後の成長・発展に繋がるように取り組んでいただきたいと思います」とメッセージをいただきました。

最終日はSF・SGデイビジョン大会を開催し、CCRC 豊泉家 芦屋山手におけるMaaS事業の構築やオリジナルソースの開発等、全6チームが発表を行いました。総評では、一般財団法人SF 豊泉家 谷田誠創設者のため、自分本位ではなく、顧客目線に立ち、ニーズを掴むことが大切です。研究・開発を通して、顧客の幸せにつながるサービスを創造するとともに、豊泉家グループの未来を支える人財育成チーム創りも行つて欲しいです」とのお言葉を頂戴いたしました。

各大会終了後に厳正なる審査が行われ、課題「目標設定力」「アイデア力」「表現力」「実現力」「感動力」などの評価基準を基に各ドメインでの総合的な審査を以て、グループ大会へ進むチームが選出されました。



- MC(医療)ドメイン
 - リハビリテーション科
 - 北大阪ほうせんか病院 放射線科
 - Cap(キャプテン)会
 - DS(デイサービス)部門
 - HM(ヘルスクアマネジャー)会
 - SF・SG(デイビジョン)
 - HCC 豊泉家コミュニティクラブ
 - SCM 環境メンテナンス事業部
 - 豊食株式会社
 - 特別枠
 - スマイルローズ(MCドメイン)
 - レッドインクル(ACドメイン)
- 以上、合計10チームが12月7日(水)に開催されるグループ大会において発表を行います。選出されたチームの皆様おめでとうございませう。また、今回惜しくもグループ大会出場を逃してしまったチームの皆様にも併せて称賛をお願いいたします。
- 今後より一層充実したサービス提供のために、このR&Dを継続してまいります。改めまして、豊泉家に携わる皆様におかれましては、引き続き、豊泉家グループの更なる飛躍に向けてご支援ご協力のほどお願い申し上げます。
- 記者：人財創造部 島 翔平

参加チーム及びテーマ内容

ACドメイン	テーマ
基調講演:認知症ケアPJ	「認知症パラダイス実現に向けて」
①T3(チームスリー)会	「T3の使命」
②Vcp(バイスカプテン)会	「振り返りからのマネジメント実践 ~Vcp会の原点帰帰~」
③Cap(キャプテン)会 グループ大会選出	「未来を担う豊泉家フェローの育成」
④HM(ヘルスクアマネジャー)会 グループ大会選出	「エイジレストレーニング ~メソッドの確立に向けて~」
⑤DS(デイサービス)部門 グループ大会選出	「デイサービス事業における ウィズコロナ社会に対しての今後の展望」
⑥CH桃山台/ALH桃山台 合同 (ケアハウス・アシステッドリビングホーム)	「桃山台コミュニティのサービスと 環境の最大活用」
⑦CCRC豊泉家 芦屋山手	「CCRC豊泉家 芦屋山手の未来」
⑧レッドインクル (天森養護老人ホーム) グループ大会選出	「天森 今後のビジョン ~現状課題から新事業への取り組み~」

MCドメイン	テーマ
①リハビリテーション科 グループ大会選出	「COVID-19 軽中等症病床における リハビリテーション治療実績について」
②北大阪ほうせんか病院 放射線科 グループ大会選出	「MR検査の検討 ~主に手関節などの画質を向上させる~」
③ハッピーローズ グループ大会選出	「夜勤業務における始業前残業を減らす取り組み」
④スマイルローズ グループ大会選出	「目指せ!オムツトラブルゼロ!」
⑤スカイローズ	「家族のニーズの明確化とケアの充足」

SF・SGドメイン	テーマ
①SUNDEC株式会社	「豊泉家グループ物品管理について」
②株式会社豊泉家 物販レンタル事業部	「豊泉家3R(リデュース・リユース・リサイクル)の構築に向けて」
③SCM株式会社 環境メンテナンス事業部 グループ大会選出	「クリーン・グロアップ・プロジェクト」
④豊食株式会社 グループ大会選出	「オリジナルソースの開発」
⑤PCC(HAP株式会社)	「新予防健診」
⑥HCC(NPO法人SG博友会) グループ大会選出	「CCRC豊泉家 芦屋山手における MaaS事業の構築~実践~」

豊泉家父の日

9月4日(日)は、豊泉家父の日です。豊泉家グループでは、5月22日を母の日、9月4日を父の日とし、感謝の想いを持つと共に今一度自分たちを位置付けております。



この日は、豊泉家グループ創立の父である故安達孝専務理事が89年の天寿を全うされた御命日です。安達専務理事は大手企業要職を歴任された豊泉家グループに入職、26年間グループ内の職務に留まらず幅広く社会福祉に貢献され、社会福祉法人福祥福祉会専務理事として「生涯現役」を貫かれたそのお姿は、豊泉家グループが信条とする「臨終定年制度」そのものであり、後に続く私たちフエローの道標となるものであります。そしてこの日は「豊泉家ユートピア構想」を実現すべく私たち豊泉家グループ全フエローがその御遺徳を偲び、御遺志を受け継ぎ、創立の福祉への想いを新たにする日でもあります。



豊泉家グループ「同、更なるサービス向上を目指す為、心を二つに邁進してまいります。記者・森永 真衣



記者・人財創造本部 川合 沙代子

NEXT DOOR

豊泉家未来を創ろう会

7月21日(木)、豊泉家ラウンジドマークタワー2階にて、第234回NEXT DOOR「豊泉家未来を創ろう会」(以下語ろう会)を開催いたしました。語ろう会(以下語ろう会)を開催いたしました。ほうせんか病院の移転、北大阪ほうせんか病院の事業譲渡等の影響を受け、2時間開催を中断していた語ろう会は、2019年の再開からこの度、3周年を迎えました!当会は「MC(医療)ドメインのこれからについて語り合うことと、相互信頼を築き未来を創造していくこと」を目的に開催しております。会の中で、医療法人成和会 樋口昌克副理事長から「1月1回の語ろう会の場を通じて、現場の皆様からの生の声を受け取り、しっかりと経営に反映させていきたい」と思っています。それと同時に、経営陣から豊泉家の考え方針を発信する場として有意義な時間にしていただきたいと考えております。トップダウン・ボトムアップの調和を図って経営していくために、是非多くの方々にご参加いただきたいです」とお話しいただきました。



記者・人財創造本部 山崎 和舞

これまでにお話しすることの無かったフエローとの関係性を築く場として、そして経営幹部に自身の想いを伝える場として是非ご活用ください。



ほうせんか COVID-19 コンプレックス ヒストリーデータ BOOK 第2版 発刊

2021年2月26日より、新型コロナウイルス感染症に対する様々な取り組みを複合的に実施してまいりました。これらの取り組みと各種データの記録・掲載をしています。様々なデータを分析・改善を繰り返す、これからは「立ち向かう使命感と挑戦する勇気」をもって新型コロナウイルス感染症と戦ってまいります。引き続き COVID-19 コンプレックスへのご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

医療法人成和会 ほうせんか病院 岡 博子院長が『The Best Doctors in 2022-2023』に選出されました。

ほうせんか病院の岡 博子院長が、ベストドクターズ社から、医師同士の評価によって選ばれる「The Best Doctors in 2022-2023」に、今年度も引き続き選出されました。2016年に初回選出されて以来、4期連続での選出となります。岡院長は、消化器内科の専門医であり、特に肝臓病を専門的に診られています。超音波検査(腹部エコー)の指導医もされており、外来では、肝炎や肝臓などの診断や治療も実施されています。



医療法人成和会 HPは、こちらから▶

豊泉家トピックス

特設サイト CCRCC 豊泉家 芦屋山手

CCRCC 豊泉家 芦屋山手の特設サイトがこの度リニューアルいたしました! リニューアル内容は、ケアハウス豊泉家 芦屋山手で提供を開始しました「ヘルスケアステイ」と、ナッシングホーム豊泉家 芦屋山手で提供を開始しました「ショートステイ」について、夏期プランのご紹介を掲載しております。年々、暑さが厳しい8月とそれを引きずり9月以降にも残暑が厳しい時期が続きます。熱中症への懸念は9月以降も続き、搬送数の約半数が高齢者と言われています。意外にも自宅など屋内での発症も多いと言われています。

CCRCC 豊泉家 芦屋山手です。健康に、安心して夏を過ごすための選択肢に介護施設を利用してみてはいかがでしょうか? 遠方に住むご家族が心配という方や、将来を見据えて介護施設での暮らしを経験してみたいという方にもおすすめです。気になる方は、お気軽にお問い合わせください。☆問い合わせ先: 豊泉家C.I.S.センター 0120-0294-998 (QRコード: WEBサイトからのお申し込みも可能です)

CCRC 豊泉家 芦屋山手の魅力を公開中 広報戦略室では、今年OPENしたCCRCC 豊泉家 芦屋山手の魅力をSNS (Twitter・Instagram) で発信しています! 自然豊かな高台に建ち、屋上テラスから見える市街地の風景。天気の良い日には外気浴でリフレッシュ。介護施設とは思えない煌びやかな装飾とこだわりの詰まった調度品の数々。愉しそうな声が聞こえるバインホールに引き寄せられ、中を見ていると、音楽鑑賞やスポーツ、絵

